



市長とトーク

市民の皆さんと市長が対話する取り組みを紹介します。

【詳細】市民の声を聞く課 ☎211-2042

「市長と語ろう！」
サッポロスマイルトーク」を
昨年の11月30日に開催しました

市政に関するテーマについて、市民の皆さんと市長が対話。率直な意見交換を通して、市政に生かすとともに、参加者の市政への理解や関心を深めていただく取り組みです。

第3回 「まちづくり」く変わりゆく札幌

話し合われた内容の一部を紹介

松井康明氏

（東急不動産株式会社
都市事業ユニット都市事業本部
商業事業部統括部長）



● 私が住んでいた約20年前に比べ、札幌が様変わりをしていると実感している。特にすすきののはココノススキノができてから、昼夜を問わず一日中楽しめる街へと変化しつつある。

● 学生やベビーカーで来る家族など、幅広い年齢層の方が訪れるようになった。

● 市が行っている違法駐輪や客引き対策なども積極的に一緒に取り組み、より安全で安心して楽しめる街にしていきたい。

志村敦史氏

（東急不動産
SCマネジメント株式会社
ココノススキノ総支配人）



● 2年前、コロナ禍の時にこのココノススキノを建てていたが、昼も夜も人が少ない状況だった。コロナ禍の前は、夜は非常ににぎわっているが、昼間は人が少ない街だったのがすすきの。それを変えていくために、年代や性別を問わず、外国人旅行者も含めて昼も夜も楽しめる施設を造ろうと頑張ってきた。

● 今、TikTokなどのSNSで、学生がここから発信するなど話題になっている。

Mizus 氏

（Porocoアンバサダー）※札幌の生活情報誌



● 札幌という街にとって、食は大切なもの。たくさんのお店やすてきなスイーツのお店があるココノススキノの開業で、日中すすきのを訪れる方も増えたと思う。

● Porocoの読者アンケートで、札幌は都会でありながら自然もある、その程よいバランスが良いという意見が多く、私も同じ印象を持っている。

市民の皆さんから

● 今、歴史的建造物が失われつつある。新たな建物に建て替えるときに、せめて玄関など一部でも残しておけば、もっと魅力的な街になるのでは。

● 中心部に新しい建物ができるなど盛り上がりつつあるが、公共交通機関の運転手の高齢化や担い手不足について、市はどう考えているのか。

秋元克広 市長



● 今の屋のすすきののにぎわいは、新しい施設ができることで人の流れが変わる好事例だと思う。

● 2011年に駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）ができ、札幌駅前からすすきのまで地下でつながり、中心部のビルが建て替わってきていることで、市民の皆さんも街が変わってきたと感じているのでは。

● 現在残っている建物は、再開発の時にその面影を残す方策などを、引き続き事業者と一緒に考えていきたい。

● バスの運転手の確保は課題。給料や待遇の改善のほか、働き方も変えていくなど企業と一緒に取り組んでいるところ。



すすきのの商業施設ココノススキノで、ゲストの3人と市長、参加された市民の皆さんが「さまざまな変化が続いている札幌の現状とこれから」をテーマに語り合いました。